

株式会社 妙徳

2020年12月期 決算説明会

2021年2月18日

目次

- 1** 2020年12月期決算概要
- 2 2021年12月期業績予想、株主還元
- 3 今後の方針

2020年12月期業績 総括

- 新型コロナウイルス感染症拡大により企業活動が制約を受け、先行き不安から設備投資の縮小。
- 5G通信化、パソコン需要増により半導体製造装置関連は昨年後半より動きあり。
- 自動化推進によるロボット関連機器も昨年後半から需要増。
- 売上は前期比5%減、営業利益は前期比58%増。
営業活動の制限、その他経費減少（前期比13%減）により大幅な増収。

2020年12月期業績

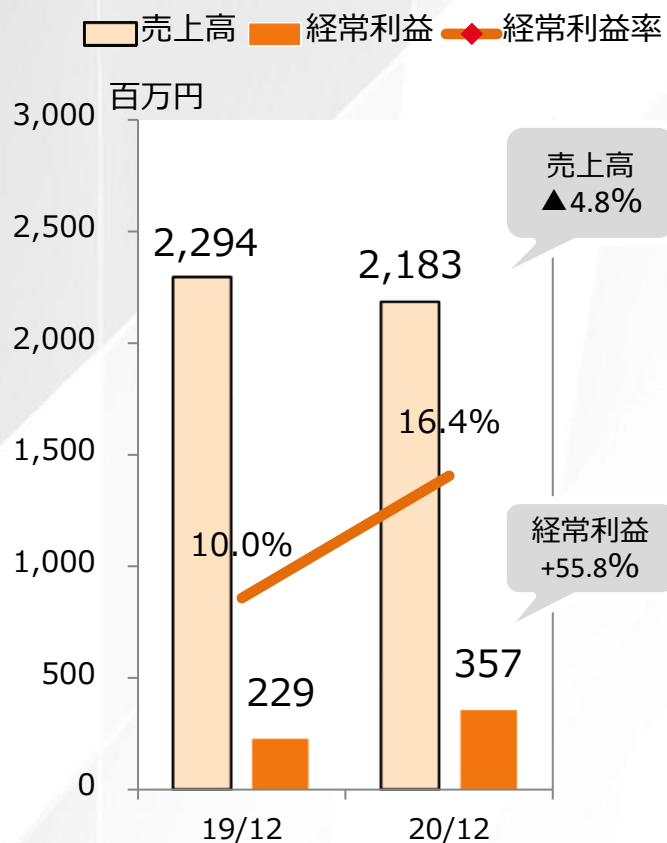
(百万円)

	2019年 実績	2020年 予想	2020年 実績	増減率 (%)	
				前期比	計画比
売上高	2,294	2,142	2,183	▲4.8	+1.9
売上総利益 (売上総利益率)	1,234 (53.8%)	1,185 (55.3%)	1,227 (56.2%)	▲0.6	+3.5
販売費及び一般管理費	1,020	946	887	▲13.0	▲6.2
営業利益	214	239	340	+58.8	+42.0
経常利益 (経常利益率)	229 (10.0%)	262 (12.3%)	357 (16.4%)	+55.8	+36.2
税引前当期純利益	222	262	356	+59.8	+35.6
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	147 (6.4%)	171 (8.0%)	244 (11.2%)	+65.7	+43.1
1株当たり当期純利益	96円40銭	109円99銭	157円41銭	+61.01円	+47.42円

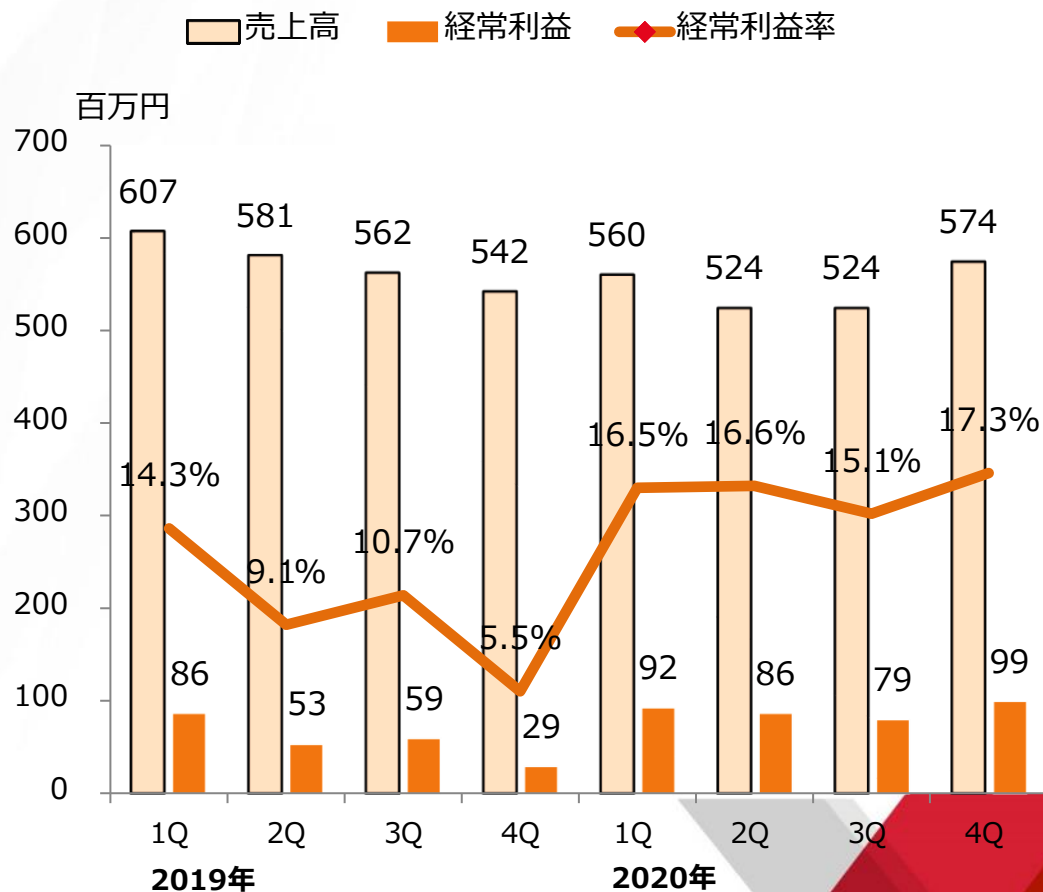
※2020年予想は2020年8月12日修正公表値

連結売上高、経常利益推移

前期比



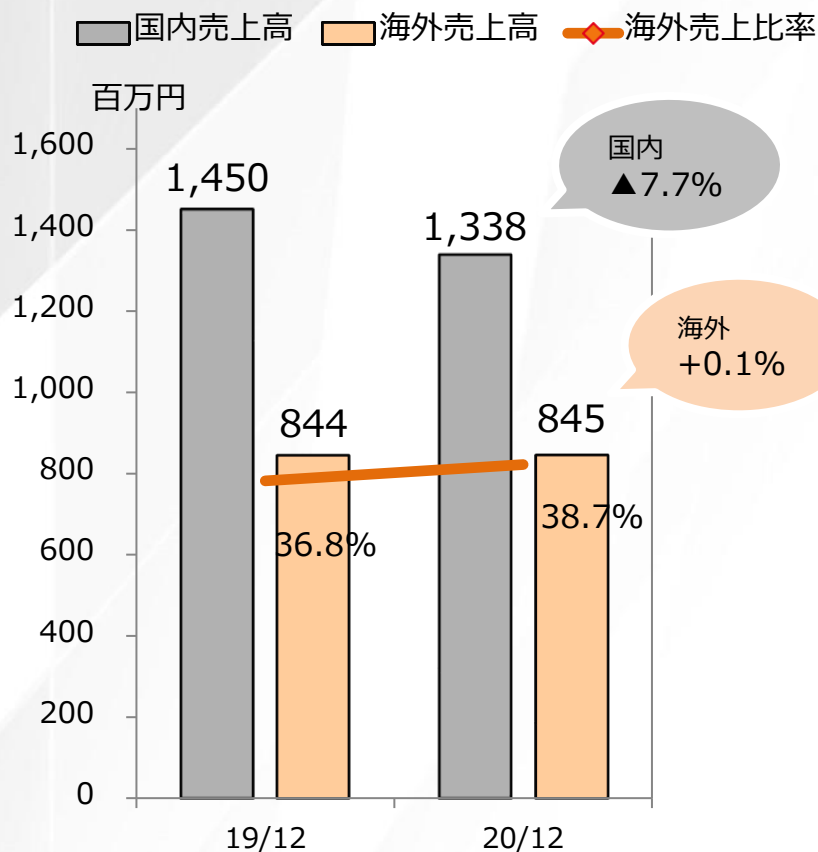
四半期推移



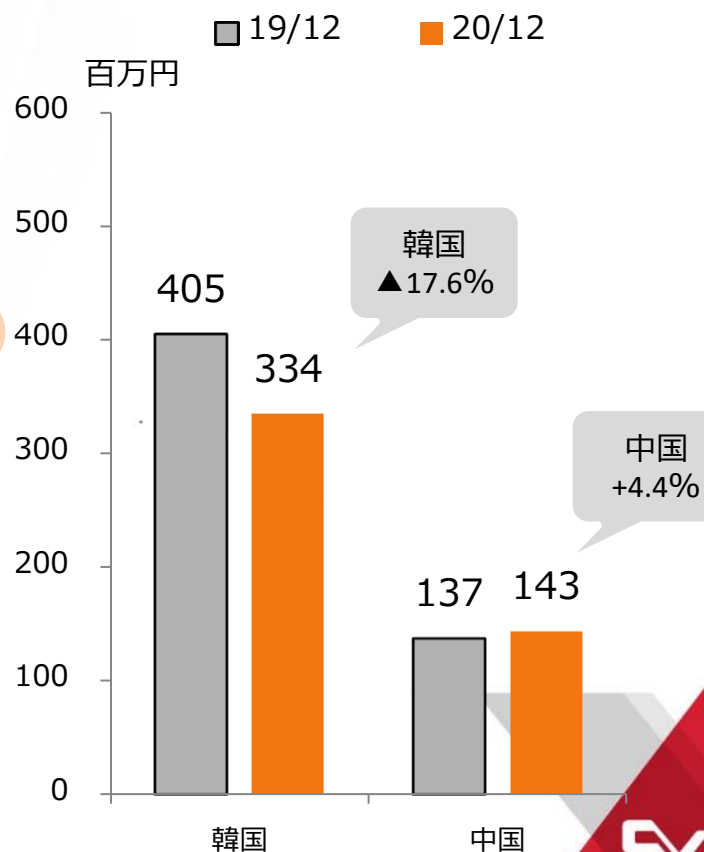
地域別売上高

国内売上高1,338百万円▲7.7% 海外売上高845百万円+0.1%

国内/海外別売上高



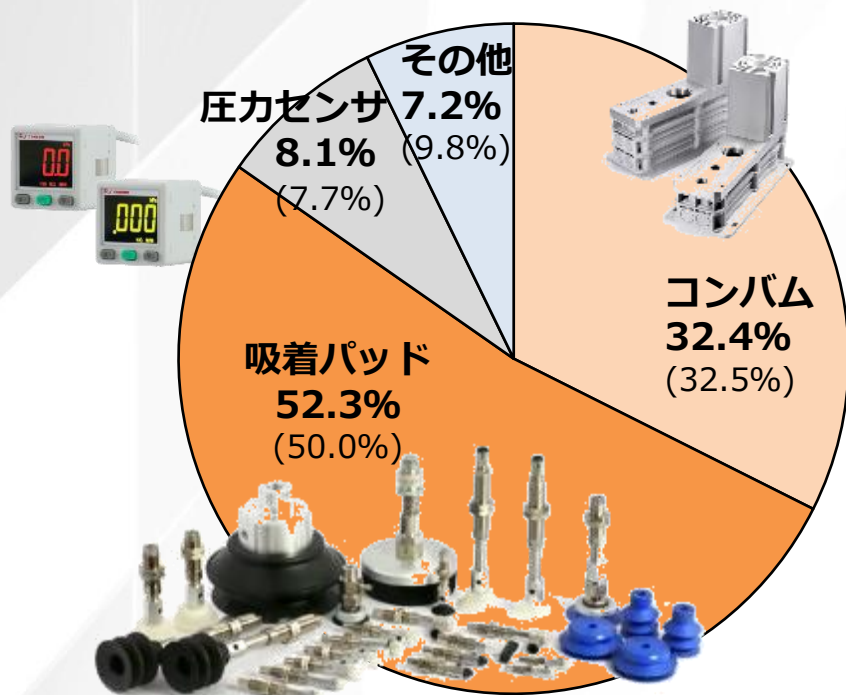
海外売上高 内訳



製品群別売上高

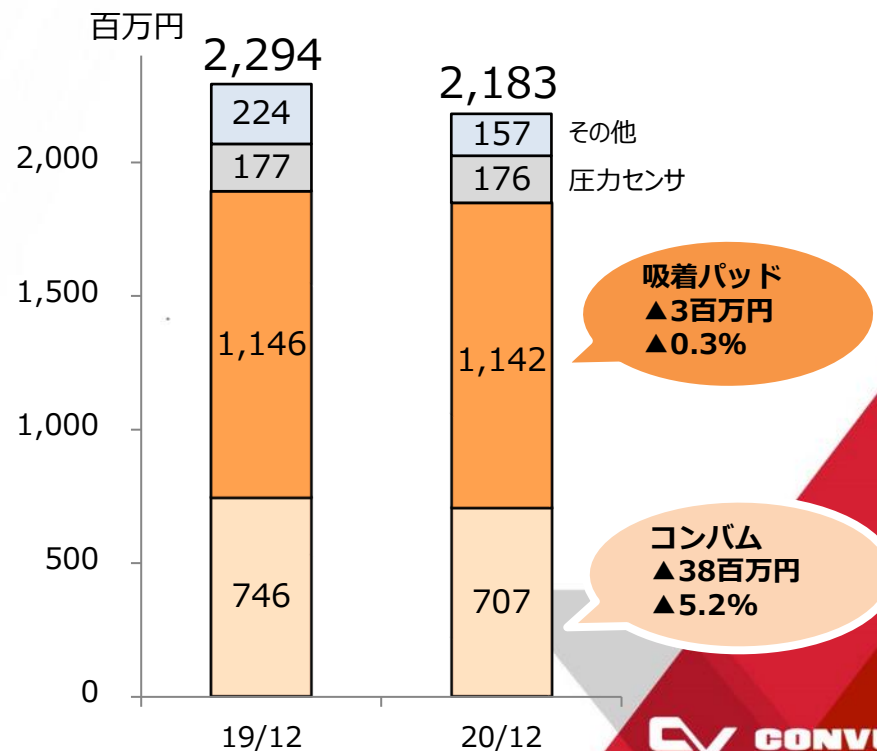
- 主力の「コンバム（真空発生器）」「吸着パッド」で85%の売上高
- 新規設備需要減少

製品群別売上高構成比



()内は、前年同期 売上構成比

製品群別売上高推移



連結財務状況

(単位：百万円)

連結貸借対照表

	2019年 12月期末	2020年 12月期末	前期比 増減額
流動資産	2,743	3,002	259
固定資産	2,290	2,238	▲52
資産合計	5,034	5,241	207
流動負債	300	310	9
固定負債	151	158	6
負債合計	452	468	16
純資産合計	4,581	4,772	191
負債・純資産 合計	5,034	5,241	207
自己資本比率	90.4%	90.5%	0.1pt

連結キャッシュフロー計算書

	2019年 累計	2020年 累計
営業キャッシュフロー	626	508
投資キャッシュフロー	▲153	▲210
財務キャッシュフロー	▲52	▲35
現金及び現金同等物の 増減額	416	260
現金及び現金同等物の 期首残高	1,212	1,628
現金及び現金同等物の 期末残高	1,628	1,889

目次

1 2020年12月期決算概要

2 2021年12月期業績予想、株主還元

3 今後の方針

2021年12月期業績予想

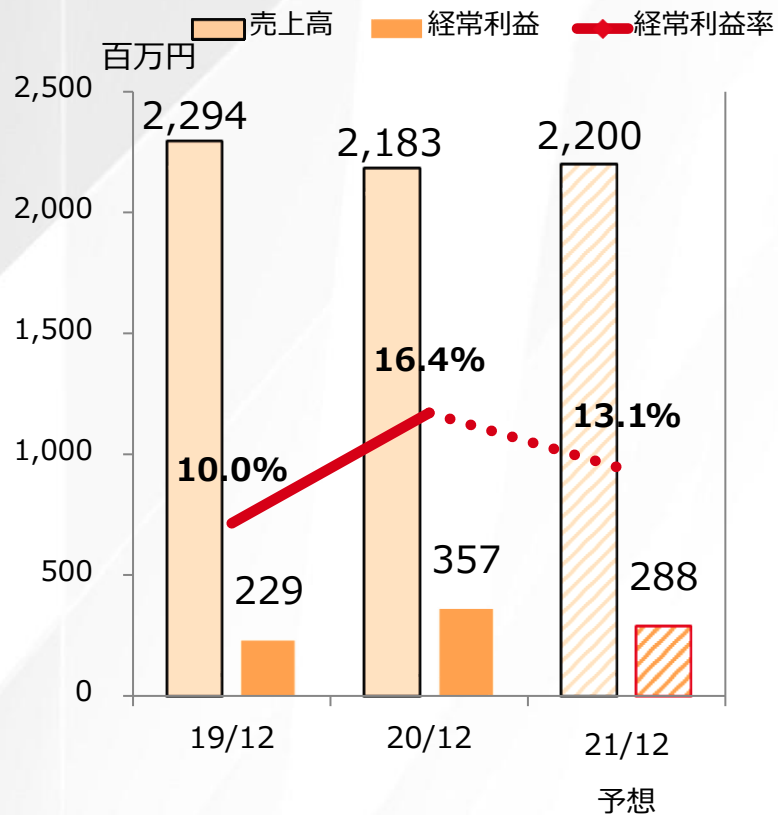
- コロナ感染の収束に不安。売上は前期比微増。
- IoT/5G通信化/クラウド化により、半導体関連は堅調。自動車関連は脱炭素化に向け、電池関連需要は増加傾向。
- 営業利益は新製品等投資、岩手工場増築(12月完成)、システム投資(新基幹システム7月稼働)、展示会等営業活動増により、前期比21%減見込み。
- 将来を見据えた設備投資は継続。アフターコロナに向けての生産体制基礎固め。

2021年12月期業績予想

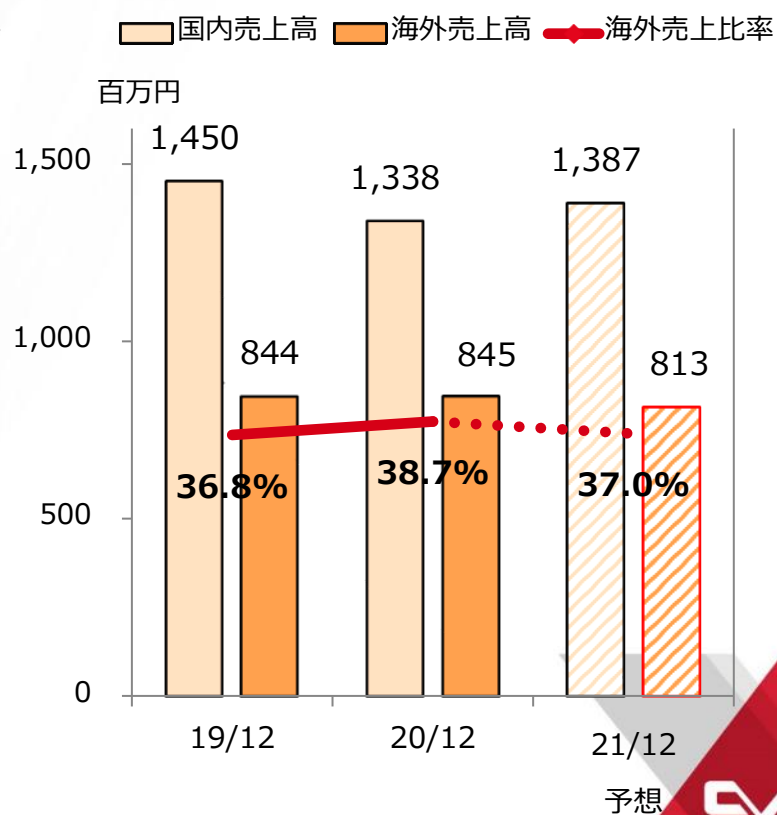
売上高2,200百万円 前期比微増

国内1,387百万円+3.7% 海外813百万円▲3.8%

売上高、経常利益推移



国内海外別売上高



2021年12月期業績予想

(百万円)

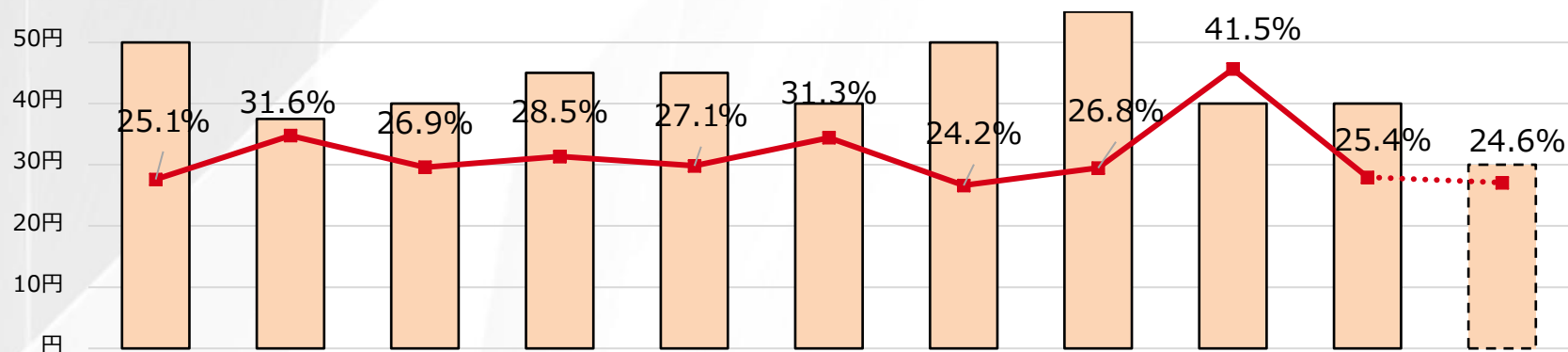
	2019年 実績	2020年 実績	2021年 予想	前期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高	2,294	2,183	2,200	+17	+0.8
営業利益 (営業利益率)	214 (9.3%)	340 (15.6%)	268 (12.2%)	▲71	▲21.0
経常利益 (経常利益率)	229 (10.0%)	357 (16.4%)	288 (13.1%)	▲69	▲19.3
税引前当期純利益	222	356	288	▲67	▲19.0
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	147 (6.4%)	244 (11.2%)	189 (8.6%)	▲55	▲22.5
1株当たり当期純利益	96円40銭	157円41銭	121円99銭	▲35.42円	▲22.5

株主還元

設備投資、将来に向けての基盤作りを念頭におき、
安定的、長期的な利益還元の実施を目標とする

1株当たり配当金

%:配当性向（連結）



	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	2021年 12月期予想
中間配当	5.0円	4.0円	3.5円	5.0円	3.5円	4.0円	4.0円	5.0円	20.0円	20.0円	15.0円
期末配当	5.0円	3.5円	4.5円	4.0円	5.5円	4.0円	6.0円	30.0円	20.0円	20.0円	15.0円
年間配当	10.0円	7.5円	8.0円	9.0円	9.0円	8.0円	10.0円	-	40.0円	40.0円	30.0円
1株当たり 当期純利益	39.78円	23.74円	29.75円	31.54円	33.19円	25.55円	41.37円	205.24円	96.40円	157.41円	121.99円
配当性向	25.1%	31.6%	26.9%	28.5%	27.1%	31.3%	24.2%	26.8%	41.5%	25.4%	24.6%

※2018年7月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。
棒グラフ 過去の配当金額は、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

※2014年12月期は配当は、記念配当1.0円を含む（中間配当0.50円、期末配当0.50円）

目次

1 2020年12月期決算概要

2 2021年12月期業績予想、株主還元

3 今後の方針

今後の方針

当社は、2022年1月1日より、社名を変更します。

株式会社 妙徳



コンバム 株式会社

- 社名と製品ブランド名を統一
- 更なる製品ブランド価値の向上
- コーポレートブランドの確立
- 業界の枠を超えた認知度の向上を目指します。

※2021年3月24日に開催予定の第70期定時株主総会において
定款の一部変更（商号）が承認されることが条件となります。

今後の方針

<基本方針>

海外比率の拡大

業界シェアの拡大

効率的な生産体制の構築

真空吸着機器としてのブランド価値を再認識し、引き続き、品質を高め、売上拡大に取り組みます

海外比率の拡大

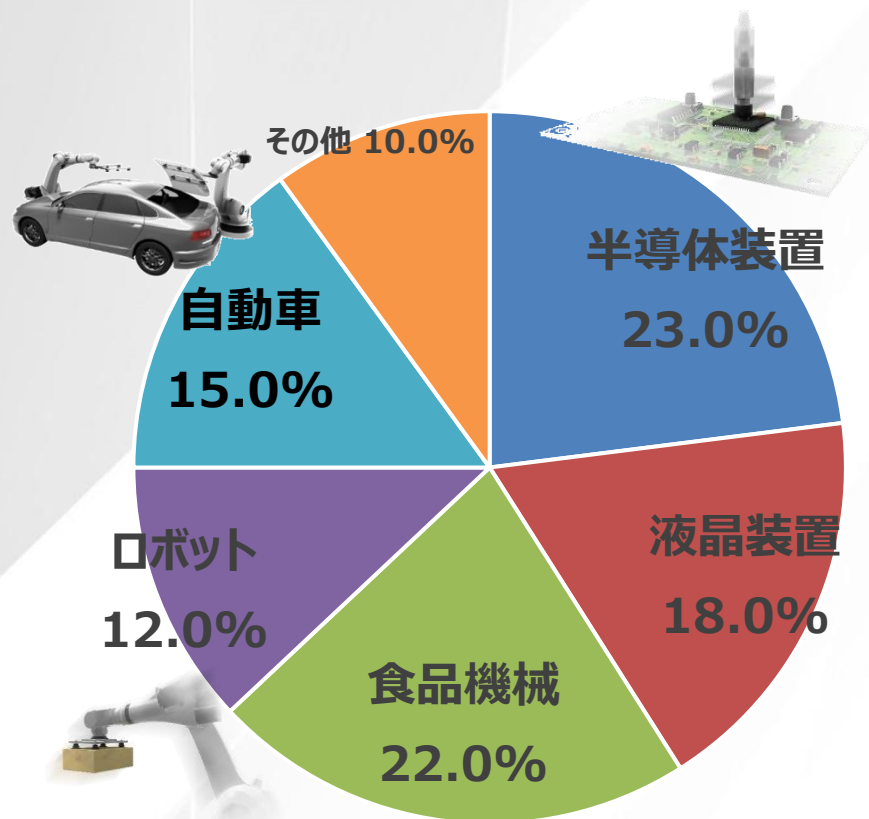
<海外地域別戦略>

国・地域	方針及び取り組み
中国 (7%)	販売網、商流の再構築 地域別・主力販売店との提携拡大 ブランド認知度の向上
韓国 (15%)	セカンドブランド製品による新規市場への拡販強化 現地生産比率拡大によるコストダウン ※生産品目拡大 OEM、ODM展開による販路拡大
タイ及び東南アジア (13%)	現地システムインテグレータの開拓 近隣諸国での新規販売店の開拓、拡販 台湾需要への対応
米国、欧州 (3%)	米国現地人員の採用、営業強化 現地販売店の開拓 現地ホームページ新構築、ブランド認知度の向上

(%) は、当社連結売上高構成比率

業界シェアの拡大

各業界、地域、市場のニーズにあわせた新製品を投入し、業界シェアを高め、グループ売上の拡大を目指す



業界	方向性
半導体装置	吸着パッドの基礎研究と開発 圧力センサ関連製品の導入
液晶装置	ガラス、フィルム向け吸着パッド
自動車	高耐久性パッドの拡販
ロボット	協働ロボ/小型ロボ向けハンドの 電動化開発と投入
食品梱包	パウチ、梱包材向けパッド投入 洗浄可能なエゼクタ
その他	各種自動化への提案、システムイ ンテグレータとの関係性構築

業界シェアの拡大

「開発コンセプト」

- > 「ロボットハンド」 電動化・小型・軽量化・汎用・協働ロボット向け
- > 食品業界向け製品の開発、導入（大型ロボットハンド）

NEW

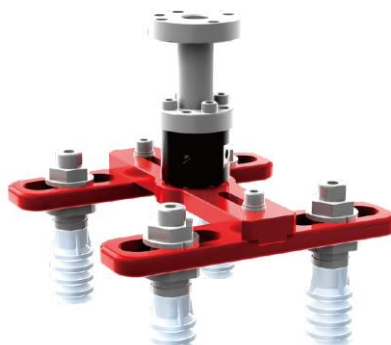
SGEシリーズ

圧縮空気不要「電動バルーンハンド」



協働ロボ、小型ロボの需要増に対応し、小型化、電動化を推進。コンセプトは「付けて すぐに使える」

CRKTシリーズ



ロボットハンドキット

ハンドとパッドを一体で提案

各ロボットへの取り付け易さに特化。20社を超えるロボットメーカーに対応可能

NEW

ウォッシュャブルエジェクタ

食品業界向け 洗浄可能



食品工場向け。
分解、洗浄・可能
SUS306で耐腐食性

効率的な生産体制の構築

「岩手工場の増築・自動化/ライン改善」

当社メイン製品の吸着パッド成型自動化 →
仕上げ → 商品センター → 出荷まで効率化

NEW

2021年12月
完成予定



吸着パッド成形工程



吸着パッド仕上工程



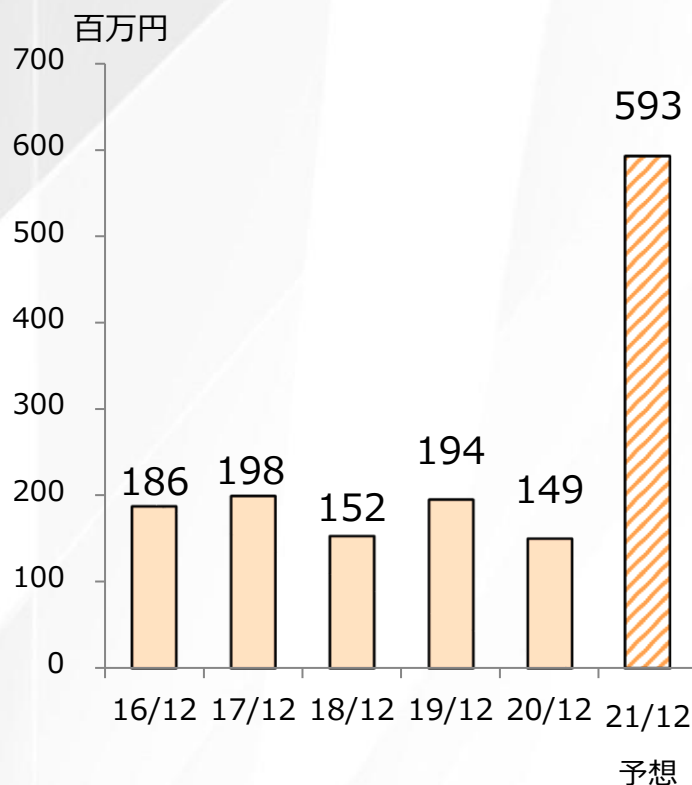
効率的な生産体制の構築

「将来を見据えた、設備投資を実施」

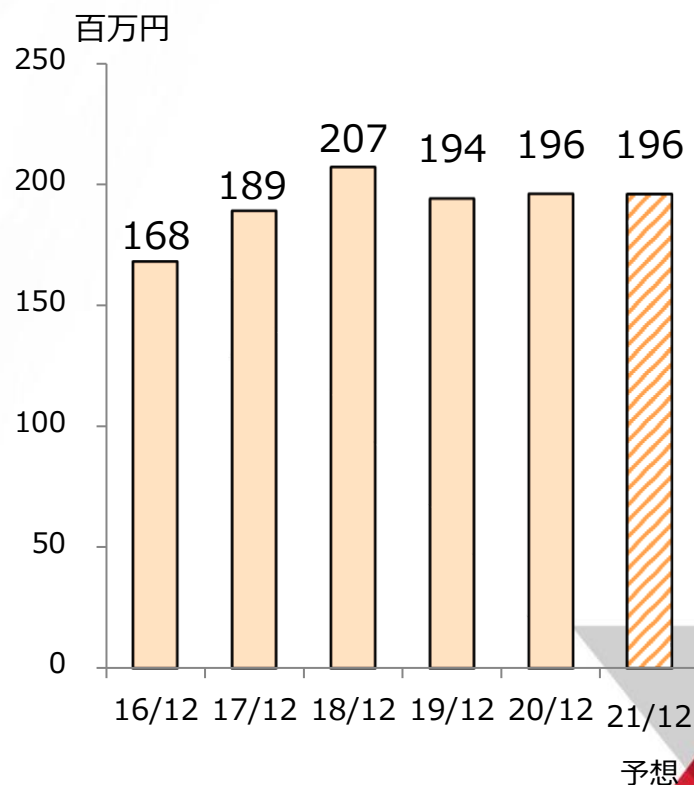
岩手工場増築投資・・・生産効率改善、出荷業務効率化

新製品生産の為の設備・金型導入、システム投資

設備投資



減価償却費



会社概要

(2020.12.31)

会社名	株式会社 妙徳 (英語表記 : Myotoku Ltd.)
創立 (設立)	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 伊勢 幸治
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備 (上海) 有限公司 上海、深セン CONVUM KOREA LTD. ソウル、釜山、天安、水原 CONVUM (THAILAND) Co.,Ltd. バンコク CONVUM USA,INC. カリフォルニア州
連結従業員数	150名 (単体111名)
発行済株式数	1,657,000株 (うち自己株式 100,416株)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード : 6265

CONVUM（コンバム）って何？

「CONVUM」コンバムとは

- ・バキューム（真空）をコントロールできる装置
= **コン**トロール **バ**キュー**ム**
- ・**コン**プレッサから**バ**キュー**ム**（真空）を発生させること
として、当社が作り出した造語です。

「CONVUM」は当社の登録商標です。

当社製品の使用事例



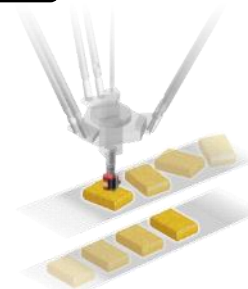
自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装



ロボットを利用した吸着搬送



主に各種製造工場、各種自動化装置において、
対象物を吸着/搬送するために使用されています。

お問い合わせ先

IR統括責任者

代表取締役社長 伊勢 幸治

お問合せ先

取締役執行役員経営企画担当

泉 陽一

TEL : 03-3759-1491 / E-mail : info@convum.co.jp

HPでは会社情報を随時更新しております

URL: www.convum.co.jp

株式会社 妙徳

この資料に記載しております事項は、当社をより理解していただくためのものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。従いまして、投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。